

解 答 速 報

昭和大学 一般選抜 I 期

英語

1.
1 : B 2 : D 3 : A 4 : C 5 : C 6 : A 7 : C 8 : D
9 : B 10 : D 11 : C 12 : B 13 : D 14 : C 15 : B

2.
1 : D→F→C→G→E 2. I : D II : D III : A

3. a : D b : A c : B d : B

3.
1. I : B II : B III : D

2. ア : to イ : in ウ : with エ : in オ : that

3 : 科学者たちが、かつてプラシーボが効果的であるために（プラシーボだということを）隠すことの重要性に関して信じていた全てのことに基づいて考えると、これらの正直にプラシーボだとうたっている錠剤は痛みや疲労や頭痛や他の症状を軽減するはずがない。しかし、実際には多くの症例において、プラシーボは症状を軽減している。

4 : Still, the unexpected effect has many experts interested.

5 : fluctuate

6 : 患者さんに、実際には治療の成分が入っていないプラシーボだと知らせずに、だましてのませること。

7 : 三日間、カルダモンの香りをかいでプラシーボのカプセルをのんでからオピオイドをのみ、脳にプラシーボを摂取することと鎮痛を結びつけさせてから、四日目から香りとはプラシーボのみにすると、オピオイドがなくても痛みが和らぐようになった。

～講評～

大問1

- 10 make do with は基本的なイディオムからははずれるだろうが、他の選択肢を消去して、without ではなく with を選べばできるはず。
- 13 the world is my oyster (直訳で「世界は私の牡蠣」) はシェイクスピアの引用で知っている受験生はほぼいないと思われるが、いい意味にしたいと考えれば他の選択肢を消去できるはず。
- 15 同格の that が名詞と離れているパターン。

大問2

- 1 ヒントを頼りにして効率よく処理したい。ヒントは以下の通り。
 - D 1行目の this biological pacemaker の this とその直後の a ingenious experiment
 - F one plant (実験に使う植物が初出)
 - C the plant (その植物を使った実験を行う前のことと実験開始について)
 - G 実験の転換期
 - E 最初の It (a revolutionary discovery とイコールになるようなものが前にあるはず)
- 2 空欄3 長い文章に惑わされず、空欄の前後の rhythmicity と swings の対比で考えたい。
- 3 d 難し目の単語だが、文脈と消去法で乗り切りたい
- 4 has をどう使うかが決め手。現在完了形がすぐに浮かぶだろうが、使役の可能性も常に頭においておくこと。

大問3

- 5 →fluctuating : attribute A to B の形なので、動名詞にする。

基本的な問題を交えながら、少しレベルの高い知識を要求している。あわてずに消去法や文脈から推測する力をフルに使って、できるはずの問題をしっかりと解けば7割はとれるはず。



メルマガ登録（無料）または LINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



<p>渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校 TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校 TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>